令和８年度　　能登川高等学校（全日制）　学校評価

本年度の重点目標

・「当たり前のこと」が当たり前にできる人間の育成。
・確かな学力と基本的な生活態度を身につけ、生徒一人ひとりの適性にあった進路希望の実現を図る。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	単位制、3部制の特色ある学校づくりに努め、活気ある学校づくりを推進している。	A		
	学年、分掌、教科目標を設定し、改善を積み重ねて信頼される学校づくりを推進している。	A		
2　学習指導	家庭学習の習慣が定着するよう、丁寧な指導を行っている。	A		
	生徒の学習意欲を喚起する適切な指導と評価を行っている。	A		
3　生徒指導	礼儀と規律と徳性のある生活態度を育成している。	A		
	教師と生徒の豊かな人間関係の育成に努めている。	A		
	アンケートの実施や個別面談、啓発活動を通して、いじめ防止に努めている。	A		
4　進路指導	望ましい勤労観、職業観の育成等、系統的な進路指導を行っている。	A		
	個に応じた進路選択に向け、きめ細かい情報提供を行っている。	A		
5　特別活動等	LHRや学校行事に積極的に取り組んでいる。	A		
	生徒会活動やHR活動等で生徒が主体的に活動するよう指導している。	A		
6　学校図書館	リクエスト・レファレンスに積極的に応え、貸出の定着を図っている。	A		
	図書館だより発行等をとおして、図書情報を発信し、読書意欲の喚起に努めている。	A		
7　保健・安全指導	健康診断、応急処置、保健だより発行等、健康管理や健康指導に努めている。	A		
	個々の心身の健康状態に応じた、カウセンリングや個別指導を行っている。	A		
8　人権教育	自尊感情を高めるとともに、円滑な人間関係が築けるように指導を行っている。	A		
	視聴覚教材等を活用し、LHR等で人権意識を高める指導を行っている。	A		
9　環境教育	校舎内外の美化に積極的に取り組んでいる。	A		
	ゴミの分別を行い、減量化に努めている。	A		
10　事務・管理	施設・設備の安全点検を適切に行っている。	A		
	文書管理を適切に行っている。	A		
11　その他 学校の取組	教職員は、通信やHP等学校の教育活動を積極的に情報発信している。	A		
	地域に根ざした教育活動と情報発信等、開かれた学校づくりに努めている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：https://www.notogawa-h.shiga-ec.ed.jp/